

高知の未来を築く ほおっちょけん マンスリーサポーター を募集しています。

例えば、次のような支援を行います。

5,000円では

「もしも…」の時に、
適切で迅速な処置を可能とする
「救急医療情報キット」25名分



10,000円では

離職者の再就職に向けた第一歩。
協力事業所（一般企業）で働く
職場体験プログラム1名分
（1週間）



20,000円では

社会的に孤立している方が、
居場所を見つけ活動をするための
社会参加プログラム4名分
（1ヵ月）



申し込み方法

- 1 別紙「ほおっちょけんマンスリーサポーター 口座振替による寄付申込書・変更申込書」にご記入ください。
※用紙のお取り寄せに関しては、下記連絡先までご連絡ください。
- 2 記入した用紙を高知市社会福祉協議会へ郵送または持参ください。
- 3 手続き終了後、口座振替（払込）を開始します。

お問い合わせ・連絡先

社会福祉法人 高知市社会福祉協議会
TEL.088-823-9515

平日 8:30~17:30（土・日・祝日、年末年始は休み）

〒780-0850

高知市丸ノ内1丁目7番45号 総合あんしんセンター3階

メール:shakyo@kochi-csw.or.jp

https://kochi-csw.or.jp



いただいたご寄付は、 寄付金控除等の対象 となります

個人の方からのご寄付については、所得税法上の寄付金控除（所得控除）が受けられます。法人の皆さまからのご寄付は、一般の寄付金等の損金算入限度額とは別に、特別損金算入限度額の範囲内で損金算入をすることができます。詳しくはお問い合わせください。

1日あたり 166円。

※月額5,000円の場合

高知の“未来”を あなたが創る。

ほおっちょけんマンスリーサポーター募集 企業・法人用

社会福祉法人
高知市社会福祉協議会



高知市社協キャラクター「ほおっちょけん」



派遣切りであって、
社宅を追い出され、
今はその日暮らしをしています…。
(50代・男性)



誰かの助けがないと 生きれん人がある。

誰もが支えが必要になることがあります

新型コロナウイルス感染症の
影響で家を失う危険が
あった世帯数

2,387世帯

※データ元：高知市社協集計の新型コロナ関連住居確保
給付金申請状況(令和2年4月～令和3年9月)

市内で独居生活を
送っている高齢者数

22,340人

高齢夫婦のみの世帯数

13,827世帯

※データ出典：平成27年国勢調査

南海トラフ大地震が
発生した場合に
避難生活を送る
市民の割合

3人に1人

※データ出典：南海トラフ地震による被害想定/
高知県庁ホームページ(kochi.lg.jp)



あたりまえの生活ができなくなって
しまうことがあります。

認知症、8050問題、生活困窮、ひきこもり、ゴミ屋敷など。
もしかしたら、あなたの身近に困っている人がいるかもしれません。

「今日」と「未来」の安心を 高知市へ

～誰一人取り残さない高知の実現を～

【今を守る】

新型コロナウイルス感染症拡大のため、職を失った人・食べる物がなくなった人など、今までの生活を送れなくなった人が多くいます。この緊急事態に、食糧や住まいなどを確保することで、心身の健康が守られます。

【安心をつくる】

頼れる人がいなくて困っている人やつながりを失った人など、不安を抱えている人が多くいます。共に生きることのできる社会をつくることで、将来への安心の輪が広がります。



高知市社会福祉協議会は 次のような支援を行います(取組一例)

● 取組紹介

- 住まいを失う恐れのある人または失った人が、安定した収入を得て住まいを確保するまでの緊急的な衣食住の提供(シェルターの提供、家計改善に向けた相談、就職支援、債務整理の手伝い、転居後の見守り等)
- 頼れる親族がない方について、ご本人が判断できる間に契約を交わし、生活を支援(日頃の見守り、認知症などで将来判断できなくなった時、死後の葬送等)
- 災害発生時に関係団体や行政と連携して災害ボランティアセンターを立ち上げ、生活再建に向けた支援(ボランティア活動のコーディネート、仮設住宅での見守り訪問等)



● 実績紹介

◎新型コロナウイルス感染症による貸付や住居確保給付金の申請件数

緊急小口特例貸付け等の申請件数(令和2年3月～令和3年9月) …… 13,479件
住居確保給付金の申請件数(令和2年4月～令和3年9月) …… 2,387件